

最優秀賞【小学校低学年（一・二年生）の部】

なつやすみにそだてたカマキリへのてがみ

（課題図書：火の鳥 いのちの物語）【手紙作品】

ひたちなか市立高野小学校 一年 皆川 泰誠

ながいきしてくれてありがとう。もうしんでしまったけれど、ぼくのおうちにきて、たのしかったですか？カマキリに、たべられたコオロギは、かまきりのなかでいきつづけるんだよね。しんでしまったてうめたカマキリも、きっとアリさんにたべられて、アリさんのなかでいきているんだろな。そうおもっておうちのにわにいるアリさんをみると、とってもわくわくするよ。

きみは、火のとりをみたことあった？すでにやすんでいる、火のとりのところに行って、いのちのふしぎをききにいったことは、あったかな？まさか、にんげんのぼくにかわれるとおもわなかったよね。びっくりさせてほんとうにごめんね。にんげんにかわれたけど、たのしいじんせいだったって、おもってくれたらうれしいな。

きみをそだてたことで、いのちのたいせつさをしったよ。おしえてくれてありがとう。火のとりもこういっているよ。「みんないっしょにくらしている、このちきゅうがたいせつなこと」しぜんがなければカマ

キリは、うまれないし、そだたないもんね。木や土や水にも、いのちがあるんだよね。みんなにも、かんしゃをしなきゃいけないね。ぼくたちにんげんたちだけがたいせつなのではなく、ちきゅうのみんながたいせつなんだとしたんだ。

カマキリだったきみは、なんのいのちになっ*て*いき*て*いるのかな？アリスさんのままかな？それとも、トリさんになっ*て*、おおぞらをとんでいるのかな？ゆきがふったりしてさむい日や、あせがとまらないくらいあつい日もあるとおもうけど、がんばって生きていこうね。ぼくもいっぱいいたべていっぱいうんどうして、おおきくなるようにがんばるよ。いつかまたあえるときまで、いっしょうけんめい、いきようね。